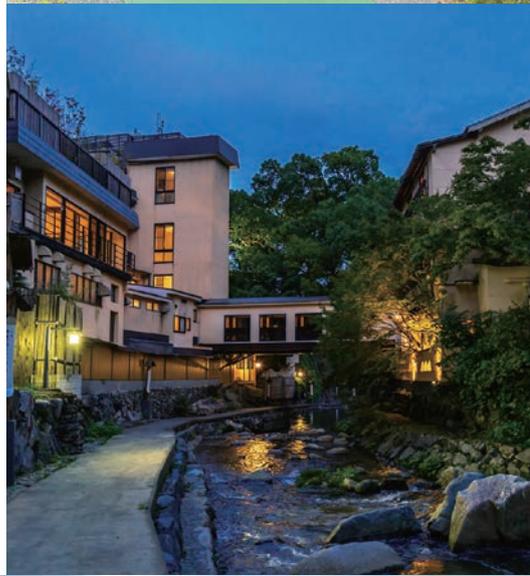


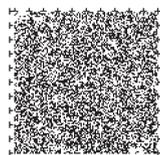


県政の



しおり

2023



はじめに

福岡県は、縦横に走る高速道路、新幹線、国内外を結ぶ空港や港湾などの充実したインフラ、アジアとの近接性、優れた技術を持つ多くの企業や豊富な人材を有しています。また新鮮な海の幸、山の幸にも恵まれ、全国に誇る農林水産物も数多くあります。

これらの強みを生かして、輸出の拡大、企業誘致、観光誘客などを進めるとともに、宇宙・バイオなど成長産業の育成にも取り組み、国内、そして世界から選ばれる福岡県を目指します。

また、誰もが住み慣れたところで働く、長く元気に暮らす、子どもを安心して産み育てることができる地域社会づくりを一層進めます。

こうした取り組みにより、本県を九州のリーダー県として飛躍、発展させ、誰もが安心してたくさんの笑顔で暮らせる福岡県にしていきたいと思います。

この冊子は、県のすがたや施策などを分かりやすく紹介したものです。福岡県についての理解を深めていただければ幸いです。



福岡県知事 服部 誠太郎

目次

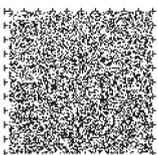


写真提供:福岡県観光連盟(①~④、⑥、⑧)

- ①小倉城(北九州市)
- ②如意輪寺(小郡市)
- ③筑後川昇開橋(大川市)
- ④柳川まり(柳川市)
- ⑤遠賀宗像自転車道(岡垣町)
- ⑥脇田温泉(宮若市)
- ⑦めがね橋(東峰村)
- ⑧英彦山(添田町)

- 県庁案内～ようこそ県庁へ～ …… 02
- 福岡県の財政と主要施策 …… 03
- 福岡県のあゆみ …… 05
- 福岡県のすがた …… 06
- 福岡県の市町村 …… 07
- 福岡県の商工業 …… 08
- 福岡県の農林水産業 …… 09
- 福岡県の伝統工芸品 …… 11
- 福岡県の世界遺産 …… 13
- 福岡県の代表的な祭り …… 14

このマークは目の不自由な方などが使う音声コードです



県章



梅の花を形どり、県の発展と県民の融和をあらわしています。昭和41年5月10日公募によって県が決めました。

県の花・うめ



昭和29年3月19日NHK植物友の会が太宰府の梅にちなんで決めました。

県の鳥・うぐいす



昭和39年7月3日公募によって県が決めました。

県の木・つつじ



昭和41年9月5日みどりのニッポン全国運動で決められました。

県庁案内～ようこそ県庁へ～

福岡県庁は隣接する東公園と一体となった環境をつくりだすために「水と緑の中の県庁」をテーマに、昭和56年に建てられました。庁舎は、議会棟、行政棟、警察棟に分かれています。



県庁全景

警察棟

行政棟

議会棟

東公園

棟名		構造	延床面積(㎡)	高さ(m)
議会棟	議場棟	地上4階・塔屋1階建	3,943.55	29.80
	事務棟	地下1階・地上4階・塔屋1階建	10,080.28	27.85
行政棟		地下3階・地上11階・塔屋1階建	77,082.21	48.20
警察棟		地下1階・地上6階・塔屋2階建	38,759.61	34.65

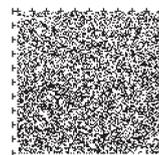
県庁舎のおいたち



旧県庁舎

跡地には、国際・文化・情報の交流拠点施設「アクロス福岡」が建つ

- 明治4年7月 廃藩置県
下名島町会所の藩庁を県庁とする
- 明治4年9月 県庁を福岡城内に移転
- 明治9年7月 県庁を天神町に移す(木造、一部洋風漆喰塗壁造り)
- 明治44年7月 旧県庁舎本館新築工事に着手
(木造れんが造り2階建、地下室付一部3階建)
- 大正4年2月 旧庁舎本館竣工
- 昭和4年7月 旧庁舎西別館竣工
(鉄筋コンクリート造り5階建地下付)
- 昭和27年12月 旧庁舎南新館竣工
(鉄筋コンクリート造り4階建)
- 昭和34年2月 旧庁舎東別館竣工
(鉄筋コンクリート造り地下1階地上5階建)
- 昭和52年7月 議会で「県庁舎の位置を変更する条例」を議決、東公園への移転確定
- 昭和53年11月 県庁舎建設工事着工
- 昭和56年11月 4日に竣工式を行い、16日開庁



福岡県の財政と主要施策 (令和5年度)

令和4年度12月および2月補正予算+令和5年度当初予算による16カ月予算(一般会計規模)

総額 2兆2,772億円

未来を見据え、「成長・発展」に向けて加速前進

※うち当初予算2兆1,975億円 前年度比2.1%、446億円増(過去最大)

予算の3本柱

1000億円の
人づくり

福岡県の発展を担うのは「人」です。「人材」育成に積極的に投資し、社会を経済を、そして未来を担う人づくりを推進します。

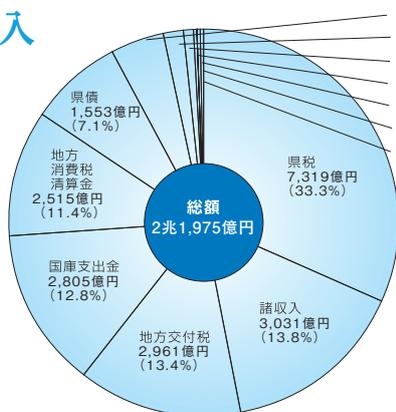
県内GDP 20兆円
への挑戦

経済の発展をけん引する産業を育て、環境と経済の好循環を実現し、実質GDP20兆円を目指します。

安全・安心で
活力ある社会づくり

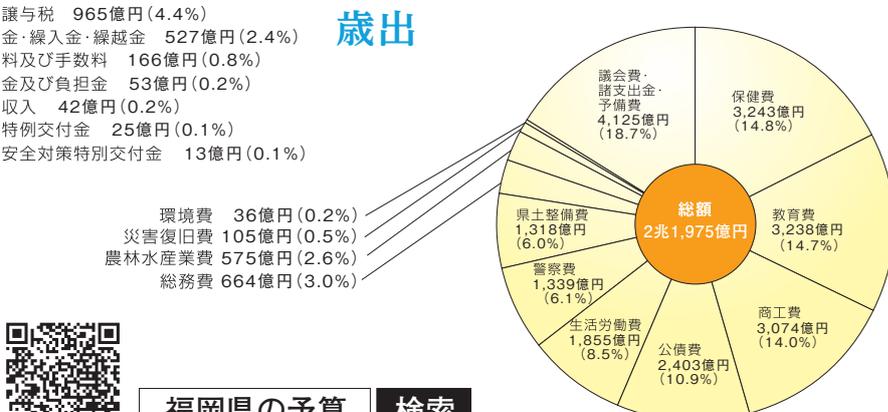
県民の皆さんの命と健康、生活を守ります。また、子どもを安心して産み育てることができる地域社会づくりを推進します。

歳入



地方譲与税 965億円(4.4%)
寄附金・繰入金・繰越金 527億円(2.4%)
使用料及び手数料 166億円(0.8%)
分担金及び負担金 53億円(0.2%)
財産収入 42億円(0.2%)
地方特別交付金 25億円(0.1%)
交通安全対策特別交付金 13億円(0.1%)

歳出



福岡県の予算 検索

1000億円の人づくり

未来を担う人づくり

- 未来子どもチャレンジ応援プロジェクトを始動 **1億6,052万円**
子ども同士が切磋琢磨しながら成長するために、体験活動やイベントを開催する市町村・地域団体・企業などを支援します。
- 「福岡から世界へ」高校生応援海外研修プロジェクトを実施 **3,827万円**

社会を支える人づくり

- 働きやすい介護職場の認証制度を創設 **1,840万円**
- 地域伝統行事お助け隊を創設 **244万円**

経済成長を支える人づくり

- 成長産業などで活躍するテクノロジー人材を育成 **5,679万円**
中学生や高校生が半導体関連企業の優れた技術や将来性を学ぶ「テクノロジー人材創生塾」を開催します。
- 「福岡県半導体人材リスキリングセンター(仮称)」を新設 **7,900万円**
講座や研修を通じ、半導体分野やデジタル産業分野などの重要技術に精通した人材を育成します。(県内の中小企業は受講無料)

いきいきと輝く人づくり

- 女性活躍を推進 **1億136万円**
「福岡キャリア・カフェ」の開設
コワーキングスペースなどを活用し、県内で働く女性と女性管理職や経営者が対話・交流できる場を提供します。
- 障がいのある人などの就業機会を拡大 **1億8,437万円**

出産・子育て安心基金(121億円)を設置

子どもを安心して産み育てることができる施策を積極的に推進!

不妊治療費を助成

2億8,320万円

不妊治療における保険適用外の先進医療の費用(全額自己負担)の一部を助成します。

対象者

夫婦の片方または両方が県内に居住し、妻の年齢が43歳未満の夫婦(事実婚含む)

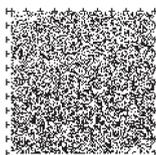
助成金額

1回の治療当たり自己負担額の7割(上限5万円) ※所得制限なし

病児保育の利用料を無償化

1億9,864万円

病院や保育所などに病児を一時的に預けることができる病児保育の利用料を無償化します(上限2,000円/日)。



県内GDP20兆円への挑戦

「グリーン」をキーワードにしたプロジェクトの推進

- グリーンデバイス開発・生産拠点構想を推進 **1億3,139万円**
- 北部九州自動車産業グリーン先進拠点プロジェクトを推進 **9,130万円**
- 水素グリーン成長戦略を推進 **2億7,878万円**

農林水産業の振興

- 柿「秋王」をはじめとした県産農産物のブランド力を強化 **5,705万円**
- 「海況予測システム」などによるデジタル化を推進 **4,843万円**
- 「博多和牛」や県産酒などの輸出を拡大 **4,418万円**
- 高品質なノリ生産など有明海の漁業生産を支援 **2億7,345万円**

先端技術産業の振興

- 福岡バイオコミュニティ形成を推進 **2億2,099万円**
- ブロックチェーンを活用したリーディングモデルを創出 **4,425万円**

中小企業の振興

- 新型コロナ関連融資からの借換えなど融資制度を充実 **融資総枠 1兆1,006億円**
- デザインアワード受賞商品の販売を促進 **2,517万円**
- 事業承継の実現に向けた取り組みを支援 **2,155万円**

観光産業の振興

- 閑散期の旅行代金の一部助成などにより国内観光需要を拡大 **76億7,294万円**
- 富裕層向けの旅行商品によりインバウンド観光を再興 **9,576万円**

ベンチャー支援

- ベンチャー創出のグローバル拠点化を推進 **8,216万円**

GXの推進 (脱炭素化に向けた取り組み)

- 環境にやさしい「福岡未来づくり住宅」を普及 **2,230万円**
- 県有施設・公用車の脱炭素化を加速 **5億4,723万円**
県有施設：太陽光発電設備を整備
公用車：電動車への切り替え

将来に向けた社会資本整備

- 北九州空港の利用を促進 **7億2,345万円**
- 福岡・北九州高速道路を整備 **18億3,000万円**

戦略的な企業誘致の推進

- 企業誘致の受け皿となる産業用地を整備 **30億5,148万円**

安全・安心で活力ある社会づくり

ワンヘルスの推進

- 「FAVAワンヘルス福岡オフィス」などとの連携を推進 **6,080万円**
- ワンヘルスの啓発を強化 **1億105万円**
ワンヘルスの実践活動を普及するワンヘルスマスターの育成など

ワンヘルスとは？

人・動物の健康と環境の健全性を一つの健康と考え、守っていくために、みんなで考えて行動すること。



治安の確保

- 自転車の安全利用とヘルメット着用を促進 **1,272万円**
令和5年4月から自転車に乗る時のヘルメット着用が努力義務になりました。
- ストーカー対策を強化 **3,201万円**
被害者宅への訪問者を検知し、警察に通知するスコープカメラを追加配備

子どもを安心して産み育てることができる地域社会づくり

- AIを活用したマッチングにより出会い・結婚を応援 **6,531万円**
- モバイル端末を配備し児童相談所の機能を強化 **5,917万円**
- クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、こども食堂を支援 **1,278万円**
- 県営公園にインクルーシブ遊具を設置 **2,500万円**
障がいの有無に関わらず、全ての子どもたちが遊べる遊具広場やバリアフリーの園路などを大濠公園・筑豊緑地に整備します。

物価・エネルギー高騰対策

- 給食費の保護者負担を軽減 **11億8,751万円**
- プレミアム付き地域商品券の発行支援(発行額360億円は過去最大規模) **38億3,589万円**

災害からの復旧・復興、防災・減災、県土強靱化の推進

- 日田彦山線沿線の地域振興を支援 **3億2,216万円**
日田彦山線「BRT ひこぼしライン」令和5年8月開業予定!
- 流域治水を推進 **2億2,876万円**

スポーツの振興、健康づくりの推進

- ツール・ド・九州2023、世界水泳選手権2023福岡大会を開催(ツール・ド・九州10月開催) **20億8,820万円**
- ふくおか健康づくり県民運動を推進 **3億3,157万円**
おいしい減塩を推進する「スマート ソルティングプロジェクト」をスタート!
有名料理研究家による「スマソルレシピコンテスト」の開催や、最優秀レシピをもとに弁当を開発・販売します。
- 新福岡武道館の建設を推進 **26億8,831万円**

文化芸術の振興

- 子どもたちに公立美術館などの無料鑑賞機会を提供 **1億4,330万円**
- 新県立美術館の建設を推進 **2億2,215万円**

ジェンダー平等の推進

- パートナーシップ宣誓制度を推進 **795万円**

地域の活力の創出

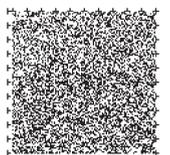
- 居住・就業・交流体験が一体となったプログラムなどにより移住・定住を促進 **1億8,314万円**
- にぎわい愛されるふるさと川づくりを推進 **1億2,000万円**

誰一人取り残さない支え

- メタバースを活用した孤立の気持ちを抱える若者の居場所づくり **3,233万円**
- 「福岡県手話言語条例」に基づき、取り組みを推進 **2,093万円**

世界に向けた発信と交流の推進 “FUKUOKA IS OPEN”

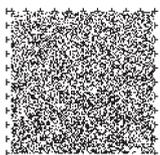
- 多言語ポータルサイト「FUKUOKA IS OPEN」を開設 **4,208万円**
福岡県の教育や医療などの外国人向け生活関連情報をはじめ、県の先進的施策や在住外国人の活躍を世界に向けて発信します。



福岡県のあゆみ

西暦	年	出来事
1871	明治4	◀ 廃藩置県、初の知事に有栖川宮熾仁親王 福岡ほか7県を福岡・三潞・小倉の3県に統合
1873	6	◀ 筑前竹槍一揆が起こる
1876	9	◀ 小倉県、三潞県を統合し、ほぼ現在の福岡県確定 ◀ 秋月の乱が起こる
1879	12	◀ 第1回福岡県会開会
1889	22	◀ 市制・町村制施行、福岡・久留米両市誕生 ◀ 九州初の陸蒸気、博多～千歳川(筑後川)開通
1897	30	◀ 八幡製鉄、遠賀郡八幡村に開業 ◀ 福岡市で活動写真初公開、電灯ともる
1899	32	◀ 福岡市で電話業務開始
1903	36	◀ 京都帝国大学福岡医学大学(現 九州大学)設立
1907	40	◀ 福岡市で初めて自動車走る
1909	42	◀ 門司～鹿児島間鉄道開通
1910	43	◀ 福岡市で初めて市内電車走る
1912	大正1	◀ 飛行機(舞鶴号)福岡城外で九州の空を初めて飛ぶ
1920	9	◀ 第1回国勢調査(県人口2,188,249人で全国第5位)
1923	12	◀ 全国初の県立女子専門学校(現 福岡女子大)福岡市に開校
1927	昭和2	◀ 普通選挙法による初の福岡県議会議員選挙
1942	17	◀ 関門海底鉄道トンネル開通
1948	23	◀ 第3回国民体育大会、福岡県で開催
1952	27	◀ 米国領事館、福岡市に開設
1958	33	◀ 関門国道トンネル開通
1962	37	◀ 若戸大橋開通
1963	38	◀ 北九州5市合併、政令指定都市北九州市発足
1966	41	◀ 韓国総領事館、福岡市に開設
1972	47	◀ 福岡市、政令指定都市となる
1973	48	◀ 関門橋(全長1,068メートル)開通
1975	50	◀ 国鉄山陽新幹線、岡山～博多間開通
1981	56	◀ 米国ハワイ州と姉妹提携 ◀ 福岡県新庁舎落成
1984	59	◀ 筑後大ぜき完成
1985	60	◀ 中国総領事館、福岡市に開設
1987	62	◀ 中国との間に定期航空路
1988	63	◀ 県の当初予算1兆円を突破
1989	平成1	◀ 福岡市でアジア太平洋博覧会開催
1990	2	◀ 第45回国民体育大会開催 ◀ 第26回全国身体障害者スポーツ大会開催
1992	4	◀ 第43回全国植樹祭開催 ◀ 中国江蘇省と友好提携 ◀ 福岡県立大学開校
1993	5	◀ オーストラリア領事館、福岡市に開設 ◀ 福岡県文化賞創設
1994	6	◀ 異常渇水により県民生活や農作物等に大打撃
1995	7	◀ ユニバーシアード福岡大会開催 ◀ 国際・文化・情報の交流拠点「アクロス福岡」オープン
1996	8	◀ 福祉・女性・人権の活動拠点「クローバープラザ」オープン ◀ 福岡県民スポーツ栄誉賞創設
1997	9	◀ 国連人間居住センター(ハビタット)福岡事務所開設 ◀ アジア開発銀行福岡総会開催
1998	10	◀ 初の女性副知事誕生 ◀ 福岡県の人口500万人を超える

西暦	年	出来事
1999	11	◀ 福岡空港新国際線旅客ターミナルオープン
2000	12	◀ 九州・沖縄サミット福岡蔵相会合開催 ◀ アジア・太平洋環境大臣会議in北九州開催 ◀ 福岡県県民栄誉賞創設 ◀ オーストラリア領事館、総領事館へ昇格
2001	13	◀ 福北ゆたか線電化開業
2003	15	◀ いちご「あまおう」本格生産開始 ◀ 海峡ドラマシップオープン
2004	16	◀ 第19回国民文化祭・ふくおか2004(愛称:とびうめ国文祭)開催
2005	17	◀ 福岡県西方沖地震発生 ◀ 九州国立博物館開館 ◀ 第18回全国健康福祉祭ふくおか大会(ねんりんピックふくおか2005)開催
2006	18	◀ 新北九州空港開港 ◀ 北部九州自動車100万台生産達成 ◀ タイ・バンコク都との友好提携
2007	19	◀ インド・デリー準州との友好提携
2008	20	◀ ベトナム・ハノイ市との友好提携 ◀ 九州国立博物館で日中韓首脳会議開催
2009	21	◀ 第1回福岡アジアコレクション開催 ◀ ベトナム総領事館、福岡市に開設 ◀ ラーメン用小麦「ラー麦」を使ったラーメン、県産米「元気づくし」販売開始
2010	22	◀ 全国初となる福岡県暴力団排除条例施行 ◀ 九州歴史資料館移転開館
2011	23	◀ 九州新幹線鹿児島ルート全線開通 ◀ 「グリーンアジア国際戦略総合特区」指定
2012	24	◀ 福岡県70歳現役応援センター開設 ◀ 九州北部豪雨発生 ◀ 福岡共同公文書館開館
2013	25	◀ 九州芸文館開館 ◀ 「ななつ星 in 九州」運行開始
2014	26	◀ 第1回「福岡駅伝」開催 ◀ FCV(水素燃料電池自動車)販売開始 県庁公用車に導入
2015	27	◀ 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録
2016	28	◀ 東九州自動車道全線開通 ◀ 「G7北九州エネルギー大臣会合」、「ライオンズクラブ国際大会」、「One Health」に関する国際会議開催
2017	29	◀ 「博多祇園山笠」「戸畑祇園大山笠」ユネスコ無形文化遺産登録 ◀ 平成29年7月九州北部豪雨災害発生 ◀ 「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産登録 ◀ 第37回全国豊かな海づくり大会開催
2018	30	◀ 在福岡タイ王国総領事館開設 ◀ 「第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会(KOUGEI EXPO)」開催
2019	31	◀ ラグビーワールドカップ2019日本大会開催
令和1		◀ 福岡空港の民間委託開始 ◀ 「G20財務大臣・中央銀行総裁会議」開催 ◀ 全国初となる福岡県部差差別解消推進条例施行
2020	2	◀ 新型コロナウイルス感染症の発生
2021	3	◀ 全国初となる福岡県ワンヘルス推進基本条例施行 ◀ 「2021世界体操・世界新体操選手権北九州大会」開催
2022	4	◀ 第21回アジア獣医師連合(FAVA)大会が福岡市で開催 ◀ 新たな「福岡国際マラソン2022」が開催
2023	5	◀ 福岡県アンテナレストラン「麹町なだ万 福岡別邸」がオープン ※暦年表記をしています。



福岡県のすがた

全国から見た福岡県

区分	順位	福岡県	全国	単位	調査年月	資料出所
(土地)						
面積	29	4,987	377,973	km ²	R5.1	国土交通省国土地理院「全国都道府市区町村別面積調」
(人口)						
人口	9	5,135	126,146	千人	R2.10	総務省統計局「国勢調査」
人口増加率	7	0.7	-0.7	%		
世帯数	9	2,318	55,704	千世帯		
人口密度	7	1,030	338	人/km ²		
平均寿命				歳	R2	厚生労働省「都道府県別生命表」
	男	27	81.38	81.49		
	女	21	87.70	87.60		
(経済)						
県内総生産(名目)	9	19,942	580,846	十億円	R1	内閣府経済社会総合研究所「県民経済計算」
一人当たり県民所得	32	2,838	3,345	千円		
農業産出額	16	1,968	88,600	億円	R3	農林水産省「生産農業所得統計」
製造品出荷額等	10	89,519	3,020,033	億円	R3.6	総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」
海上貨物				千t	R3	国土交通省「港湾統計(年報)」
輸出	4	21,831	265,303			
輸入	11	34,128	877,751			
卸売業年間販売額	4	164,203	4,016,335	億円	R3	総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」
小売業年間販売額	8	56,780	1,381,804	億円		
(学校教育)						
大学(国・公・私)数	5	35	807	校	R4	文部科学省「学校基本調査」
短期大学数	3	18	309			
(労働)						
産業別就業割合				%	R2.10	総務省統計局「国勢調査」
	第1次産業	38	2.4	3.2		
	第2次産業	40	19.9	23.4		
	第3次産業	5	77.7	73.4		
(保健)						
医療施設(人口10万人当たり)				施設	R3.10	厚生労働省「医療施設調査・病院報告」
	病院	15	8.9	6.5		
	歯科診療所	3	59.9	54.1		
医療関係従事者(人口10万人当たり)(従業地による)				人	R2.12	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」
	医師	8	326.8	262.9		
	歯科医師	3	110.5	85.2		

福岡いろいろ全国ランキング

1位 いちごの販売単価

【福岡県】1,552円/kg
【全国】1,351円/kg
*全国単価は主産県10県の平均
2021年 福岡県徳島県農産調査



1位 たけのこの生産量

【福岡県】4,386トン
【全国】19,917トン
【全国シェア】22.0%
2021年 特用林産物産調査(林野庁)



3位 まだいの漁獲量

【福岡県】1,519トン
【全国】16,138トン
【全国シェア】9.4%
2021年 漁業・養殖業生産統計(農林水産省)



農林水産業

1位 一番茶価格(普通煎茶)

【福岡県】3,164円/kg
【全国】2,037円/kg
2021年 茶生産流通実態調査
(全国茶生産団体連合会)



2位 ガーベラ(切り花)の出荷量

【福岡県】1,650万本
【全国】12,260万本
【全国シェア】13.5%
2021年 花き生産出荷統計(農林水産省)*ガワへの作り面積も11.3haで全国2位



3位 地鶏の出荷羽数

【福岡県】540千羽
【全国】4,527千羽
【全国シェア】11.9%
2021年 独立行政法人家畜改良センター兵庫牧場調べ



1位 木製棚、戸棚の出荷金額

【福岡県】160.3億円
【全国】106.13億円
【全国シェア】15.1%



1位 ゴム底布靴の出荷金額

【福岡県】39.3億円
【全国】77.9億円
【全国シェア】50.5%



1位 ロボット、同装置の部分品等の出荷金額

【福岡県】389.4億円
【全国】1326.2億円
【全国シェア】29.4%



製造業

1位 花むしろ、ござの出荷金額

【福岡県】2.3億円
【全国】4.8億円
【全国シェア】48.0%



2位 たんすの出荷金額

【福岡県】30.9億円
【全国】153.2億円
【全国シェア】20.2%



2位 ちょうちんの出荷金額

【福岡県】18.2億円
【全国】53.6億円
【全国シェア】34.0%



1位 鉄道レールの輸出量(戸畑港)

【戸畑港】275,453トン
【全国】315,490トン
【全国シェア】87.3%
2021年 貿易統計(財務省)*鉄道レールの輸出金額も250.4億円で、全国1位



1位 タイヤの輸出量(博多港)

【博多港】273,009トン
【全国】1,113,136トン
【全国シェア】24.5%
2021年 貿易統計(財務省)*タイヤの輸出金額も1234.6億円で、全国1位



1位 ぶりの輸出量(博多港)

【博多港】6,095トン
【全国】9,890トン
【全国シェア】61.6%
2021年 貿易統計(財務省)*ぶりの輸出金額も100.4億円で、全国1位



運輸・貿易

1位 きこの輸出量(博多港)

【博多港】623トン
【全国】1,173トン
【全国シェア】53.1%
2021年 貿易統計(財務省)
*きのこの輸出金額も3.2億円で、全国1位



2位 焼酎の輸出量(門司港)

【門司港】309,592リットル
【全国】2,783,530リットル
【全国シェア】11.1%
2021年 貿易統計(財務省)



3位 いちごの輸出量(福岡空港)

【福岡空港】304トン
【全国】1,776トン
【全国シェア】17.1%
2021年 貿易統計(財務省)
*いちごの輸出金額も8.0億円で、全国3位



1位 たらこへの支出金額(1世帯当たり)(福岡市)

【福岡市】5,470円
【全国】2,096円
2019-2021年平均 家計調査(総務省)



1位 さしみ盛合わせへの支出金額(1世帯当たり)(北九州市)

【北九州市】6,717円
【全国】4,554円
2019-2021年平均 家計調査(総務省)



1位 埋蔵文化財専門職員数(都道府県・市町村の合計)

【福岡県】293人
【全国】5,457人
【全国シェア】5.4%
2021年度 埋蔵文化財担当専門職員等の状況調査(文化庁)



その他

1位 市区町村の審議会等委員に占める女性の割合

【福岡県】34.2%
【全国】28.0%
内閣府調査(2022年4月1日現在)



2位 出生率(人口千人あたり)

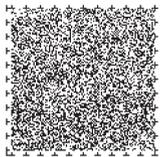
【福岡県】7.4
【全国】6.6
2021年 人口動態調査(厚生労働省)



3位 外国人留学生数

【福岡県】16,537人
【全国】242,444人
【全国シェア】6.8%
2021年度 外国人留学生在在状況調査(日本学生支援機構)





福岡県の市町村

北九州市、福岡市の2つの政令指定都市を持つ福岡県の人口は、511万7,967人(※令和4年10月1日現在推計)です。

また、福岡県には29市、29町、2村があり、これら60市町村は地理的、歴史的、経済的特性などから、北九州、福岡、筑豊、筑後の4地域に分けられています。

※人口は、令和2年国勢調査による同年10月1日現在の人口を基礎に、「福岡県人口移動調査」による毎月の人口の増減数を加減して推計したものです。

北九州地域

鉄鋼、自動車、先端半導体、ロボットなどの産業の集積が進み、蓄積された「ものづくり技術」を生かして地域の活性化が図られています。24時間運航可能な北九州空港があり、アジアの物流拠点として基盤整備が進んでいます。

福岡地域

九州の管理中枢機能や第3次産業の集積が進み、西日本のリーディングゾーンとして発展してきました。九州新幹線や福岡空港、博多港など交通基盤の整備が進んでいます。

筑豊地域

石炭産業に代わる新しい産業として、自動車産業の立地が進み、自動車産業を支える人材育成が活発に行われています。理工系大学を中心にベンチャー企業や研究機関の集積を図り、新たな産業創出の拠点づくりも進められています。

筑後地域

豊かな自然と農林水産業や地場産業、商工業などの多様な産業、文化、さらに個性のある都市群など、魅力に満ちた地域です。個性豊かな都市がそれぞれの機能を連携・補完しあい発展するために、筑後ネットワーク田園都市構想を推進しています。

北九州地域(4市9町)

市町村名	人口(人)	市町村名	人口(人)
北九州市	924,143	遠賀町	18,682
行橋市	70,958	荻田町	38,043
豊前市	23,604	みやこ町	18,090
中間市	39,240	吉富町	6,447
芦屋町	13,122	上毛町	7,080
水巻町	27,950	築上町	16,563
岡垣町	30,983		

福岡地域(11市8町1村)

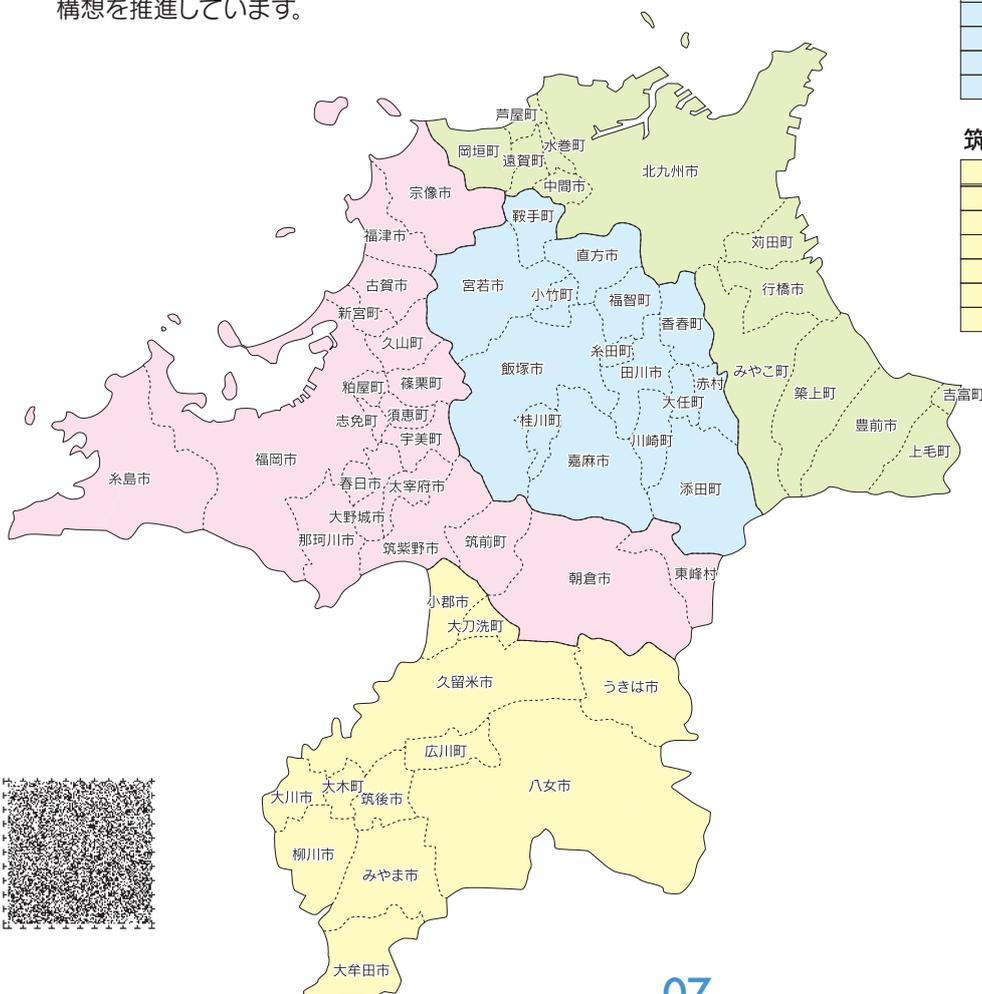
市町村名	人口(人)	市町村名	人口(人)
福岡市	1,631,409	那珂川市	49,854
筑紫野市	105,070	宇美町	37,542
春日市	110,646	篠栗町	30,720
大野城市	103,006	志免町	46,421
宗像市	97,180	須恵町	28,961
太宰府市	72,754	新宮町	32,850
古賀市	58,438	久山町	9,233
福津市	68,467	粕屋町	48,956
朝倉市	49,042	筑前町	29,839
糸島市	99,821	東峰村	1,812

筑豊地域(5市9町1村)

市町村名	人口(人)	市町村名	人口(人)
直方市	55,524	香春町	9,862
飯塚市	124,671	添田町	8,264
田川市	45,188	糸田町	8,100
宮若市	25,608	川崎町	14,609
嘉麻市	34,090	大任町	4,923
小竹町	6,895	赤村	2,652
鞍手町	14,687	福智町	20,541
桂川町	12,642		

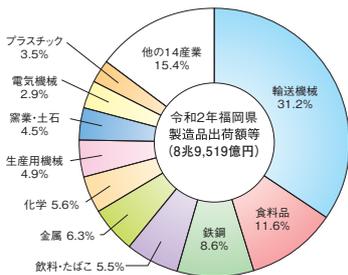
筑後地域(9市3町)

市町村名	人口(人)	市町村名	人口(人)
大牟田市	107,851	小郡市	59,663
久留米市	301,150	うきは市	27,276
柳川市	62,764	みやま市	34,793
八女市	59,455	大刀洗町	15,717
筑後市	48,720	大木町	13,639
大川市	31,954	広川町	19,803



福岡県の商工業

福岡県の工業は、鉄鋼、石炭・科学等の基礎素材型産業や食料品等の生活関連型産業を中心に発展してきましたが、近年では、自動車関連産業等の加工組立型産業のウェイトが高まっています。また、食料品製造業は、豊富で良質な農林水産物が調達できることや、大消費地に近く物流環境に恵まれていることなどから集積が進んでいます。



自動車産業

福岡県には、日産自動車九州、トヨタ自動車九州、日産車体九州の3つの自動車工場があり、隣の大分県にもダイハツ九州の自動車工場があります。北部九州にあるこれら4つの自動車工場の生産台数は年間 154 万台です。全世界において、150 万台以上乗用車を作っている国は 8 か国しかありません。1 台の自動車を生産するには、およそ 2～3 万個もの部品が必要とされており、これらの部品は、多くの関連工場で製造されています。福岡県内には、約 600 社の関連企業があります。



水素エネルギー産業

福岡県では、環境にやさしい水素・燃料電池の産業振興に取り組んでいます。九州大学では、水素・燃料電池に関する世界最先端の研究開発が行われ、この分野で、福岡県は世界から注目されています。県では、水素を使って走り、走行時に水しか排出しない燃料電池自動車 (FCV) 3 台を公用車として活用しています。また、FCV の普及に向けて、FCV に水素を供給する水素ステーションの整備も進めています。県庁敷地内に設置している水素ステーションを含めて、現在、県内 11 か所に水素ステーションが設置されています。



県FCV公用車



九州大学水素材料先端科学研究センター



水素ステーション

半導体産業

半導体は、パソコンやスマートフォン、自動車など、様々な電子機械を動かすための大切な部品として私たちの暮らしを支えています。その一方、社会のデジタル化が進むなかで、世界中で半導体不足が問題となっています。県内には、半導体の製造に関わっている企業や、半導体に関する研究を行っている大学、支援機関がたくさんあり、福岡県は、このような企業、大学などといっしょに、環境にやさしい省エネルギーな半導体「グリーンデバイス」の開発・生産拠点の形成を目指しています。

バイオ産業

福岡県では、生物の持つ能力や性質を活かす「バイオ技術」を活用して、産業を振興しています。久留米市など筑後地域は、昔から醤油や味噌など発酵食品の製造が盛んであり、また日本酒を造る酒蔵も多くあります。この地域を中心に新しい薬や健康食品、福岡県独自のお酒などの製品が開発されたり、バイオに関する企業が新設されたりするよう、研究開発の支援などを行っています。



福岡オリジナル吟醸酒



福岡バイオコミュニティゲノム編集産業化実証ラボの研究の様子



近年注目が集まっている環境にやさしい省エネルギーな半導体「グリーンデバイス」



自動車は走る半導体と呼ばれ、1台に約数十個から100個程の半導体が使われています

宇宙ビジネス

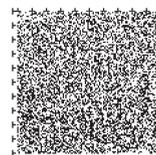
福岡県には、宇宙開発に挑戦する企業や、宇宙に関する研究を行っている九州大学、九州工業大学などがあります。これらの企業、大学と共に、人工衛星やロケット、人工衛星からのデータを活用した新サービスの開発に取り組んでおり、宇宙ビジネス振興の取り組みに熱心な県として、国から「宇宙ビジネス創出推進自治体」に選出されています。



福岡県の宇宙ベンチャー(株)QPS研究所が開発した超小型レーダー衛星 (提供: (株)QPS研究所)



衛星の開発には県内のたくさんのものづくり企業関わっています (提供: (株)QPS研究所)



福岡県の農林水産業

農業

福岡県の耕地面積は7万8,900ha(令和4年)で、県土の16%を占めており、うち水田の割合が81%(全国平均54%)と高いのが特徴です。

県では、恵まれた自然条件のもとで、多種多様な農業が営まれており、米の「夢つくし」、「元気つくし」、いちごの「あまおう」、ラーメン用小麦「ラー麦」など全国に誇れる農産物が数多くあります。

今後とも消費者の皆様においしく味わっていただける農産物の生産を推進します。

●全国順位が5位以内の主な農産物

1位	2位	3位	4位	5位
庭園樹苗木 キウイフルーツ	小麦 いちご みずな ガーベラ い草	二条大麦 冬春なす セルリー こまつな かき さく トルコギキョウ 洋ラン(鉢物) はかた地どり	ばら 冬春トマト しゅんぎく アスパラガス	いちじく 茶 ぶどう

(令和3年、いちじくは令和2年)

※順位は生産量による。ただし、庭園樹苗木、茶は産出額による。

水産業

福岡県では異なる特徴をもつ筑前海、有明海、豊前海の海域と河川・湖沼等の内水面において、多様な漁業や養殖業が行われています。

全国有数の生産を誇るマグイ、ノリをはじめ多様な水産物が水揚げされます。

今後とも消費者の皆様においしく味わっていただける新鮮な水産物の生産を推進します。

●全国順位が上位の主な水産物

魚種	福岡県	全国	全国ランク
マダイ	1,519t	16,138t	3位
イサキ	273t	3,248t	3位
ガザミ類	184t	1,793t	3位
ノリ養殖	13.8億枚	64.7億枚	2位

※ノリ養殖は養殖年(10月～翌年4月まで)の数値
※順位は生産量による。

(令和3年)

森林・林業

福岡県の森林面積は約22万4,000haで、県土の45%を占めています。森林は、水源かん養、土砂流出防止などの公益的機能を有しており、県民の安全・安心な生活を営むうえで重要な役割を果たしています。

これらの機能は、林業が持続的に行われることで維持されることから、森林資源の循環利用を推進します。併せて、福岡県森林環境税を活用し、公益的機能が長期的に発揮できる森林づくりを推進します。

また、全国有数の生産量を誇るたけのこ、ぶなしめじ、えのきたけなど、今後とも消費者の皆様においしく味わっていただける林産物の生産を推進します。

●全国順位が上位の主な林産物

項目	福岡県	全国	全国ランク
たけのこ	4,386t	19,917t	1位
ぶなしめじ	14,636t	119,545t	3位
えのきたけ	4,933t	129,587t	4位

(令和3年)

※順位は生産量による。

福岡県自慢の県産品

ふくおかの酒「ふくさけ」

豊かな米と清流の恵み

福岡県は、酒づくりが盛んで、特に筑後川中流域の城島地区(久留米市)は、多くの酒蔵が建ち並び、かつては灘、伏見に並ぶ酒どころとして数えられました。

その理由としては、古くから稲作が行われてきた西日本有数の米どころであること、そして九州最大の河川である筑後川に加え、矢部川や遠賀川といった一級河川が流れ、酒づくりに欠かせない豊かな水に恵まれていることが挙げられます。

現在でも、代表的な酒造好適米「山田錦」は全国有数の生産量を誇っており、県育成の酒米「夢一献」、国育成の「吟のさと」の生産も盛んに行われています。

県内に66ある酒蔵では、これらの県産酒米を使用した日本酒に加え、麦焼酎を中心とした多種多様な焼酎が醸されています。

<http://www.fukuoka-sake.org/>

福岡県酒造組合

検索



福岡県酒造組合
ホームページ



県内で多く栽培される「山田錦」



酒どころ城島の町並み

【問い合わせ】福岡の食販売促進課
TEL 092-643-3514 FAX 092-643-3531



飲酒運転は犯罪です。
飲酒運転は絶対しない、
させない、許さない、
そして見逃さない。

募集中!

①ふくおか地産地消応援ファミリー

県産農林水産物を積極的に購入する家庭を募集し「応援ファミリー」として登録

②ふくおか地産地消応援の店

県産農林水産物を積極的に使用する飲食店、菓子店、直売所等を募集し、「応援の店」として認定

③ふくおか農林漁業応援団体

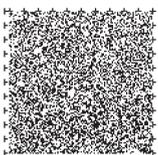
県産農林水産物の消費拡大につながる活動や、農山漁村地域での社会貢献活動を実施する企業、大学、NPOを募集し、「応援団体」として登録

【問い合わせ】食の安全・地産地消課

TEL 092-643-3575 FAX 092-643-3573

申込み方法などはこちら→<http://f-ouen.com/>

福岡のおいしい幸せ



農産物



小麦作付面積
全国2位
(令和3年)

ラー麦

細麺が主流の福岡のラーメン用に関与された小麦。コシがあって歯切れが良く、ゆで伸びしにくいのが特長。



キウイ作付面積
全国2位
(令和3年)

甘うい

果肉が黄色系で甘みが強いことが特徴の福岡生まれのキウイフルーツ。果肉が緑色の「ヘワード」も多く栽培されています。



夢つくし

県で初めて開発された品種。光沢とモチモチの食感、味の良さが自慢で、ブランド米としての評価も高い県産米です。



甘柿作付面積
全国2位
(令和2年)

秋王

サクサクした食感で、甘みが強く、種がほとんどないことが特徴の、福岡生まれの甘柿。赤みが鮮やかな「富有」も全国的に有名です。



元気つくし

夏の暑さに強く高品質な品種。一粒一粒がしっかりとしてツヤと粘りがあり、冷めてもおいしいと評判です。



いちじく作付面積
全国4位
(令和2年)

とよみつひめ

糖度が高く、果肉が肉厚でなめらかな食感が特長の福岡生まれのいちじく。ミネラルや食物繊維も豊富に含まれています。



大豆作付面積
全国4位
(令和3年)

ふくよかまる

県が育成した大豆の新品種。豆腐に加工した時に、「甘味」と「こく」があります。また、納豆や豆乳に加工されて販売されています。



いちご作付面積
全国2位
(令和3年)

あまおう

18年連続販売単価日本一に輝く、福岡県が全国に誇るトップブランドいちご。県内限定で生産されており、大粒で丸く、鮮やかな赤色が特長。



青ねぎ

「博多万能ねぎ」は特に有名。東京方面にも、毎日のように空輸されています。



冬香なす生産額
全国3位
(令和3年)

なす

濃い紫紺の皮まで柔らかい長なすで、アクが少ないのが特長。年間を通じて生産されています。



トルコキキョウ生産額
全国3位
(令和3年)

トルコキキョウ

花びらが愛らしくピンクや紫など、カラーパリエーションも豊富。ブライダル関連など、需要が高まっています。



キク生産額
全国3位
(令和3年)

キク

全国でも有数のキクの産地、福岡県、中でも八女の電照菊が有名です。色や形のバリエーションが増え、アレンジメントやブライダル用にも人気が出ています。



福岡の八女茶

全国的に広く知られる「福岡の八女茶」。中でも、伝統的な製法で生産される「八女伝統本玉露」は、平成27年に国の地理的表示(GI)保護制度の第一弾として、登録されました。



博多和牛

県内産の稲ワラ等の良質な飼料を食べて育った和牛で、おいしさや安全・安心を追求しています。



地産の鶏肉
全国3位
(令和3年)

はかた地どり

水たきやがめ煮といった郷土料理に合うように県が開発した「はかた地どり」はコクとうまみ、歯応えが抜群。令和4年に国の地理的表示(GI)として登録されました。



はかた一番どり

「はかた一番どり」は、うまみ成分「イノシン酸」が豊富で、から揚げ、焼き鳥など、色々な料理に合います。

林産物



たけのこ生産額
全国1位
(令和3年)

たけのこ

全国のたけのこの生産量の約22%は福岡県。北九州合馬地区や八女地域など、全国に誇る産地があります。



ふなしめじ生産額
全国3位
(令和3年)

ふなしめじ

苦味が少なく歯ごたえが良いため、様々な料理に使えるきのこ。県内では大木町での生産が盛んです。

水産物



イマイ瀬漁獲量
全国3位
(令和3年)

天然マダイ

福岡県は全国有数の天然マダイの産地。筑前海の荒波で育つマダイは身の締まりがよく、上品な味わいが特長で、特に春と秋は脂がのり絶品。



のり養殖生産額
全国2位
(令和3年)

福岡有明のり

有明海でとれるノリは、高級ノリとして有名。豊かな香りと口溶けの良さ、舌の上に広がるうまみは格別です。



サワラ

筑前海や豊前海で漁獲され、成長すると全長1mを超える大型魚。寒くなるにつれ脂が乗りおいしくなります。



かき牡蠣

「豊前海一粒かき」は身入りがよく、濃厚な味が特長のブランド牡蠣。海辺のかき小屋が人気の「糸島カキ」や「唐泊恵比須かき」も有名。



一本槍

筑前海の漁師が一本一本つり上げたケンサキイカ。身が透明でコリコリした歯応えと独特の旨みの特長です。

まごころ製品

県では、働く障がいのある人の収入向上を図るため、障がいのある皆さんがつくる製品(パン、お菓子、縫製品、木工品など)や提供するサービス(清掃、除草、印刷、クリーニングなど)を「まごころ製品」と名付けて販売促進に取り組んでいます。

1年間に10万円以上の「まごころ製品」を購入した企業等を「障がい者応援まごころ企業」として認定



「まごころ製品」ロゴマーク



障がい者応援まごころ企業シンボルマーク



オンラインで
購入できるウェブサイト
「まごころ製品ショップ」

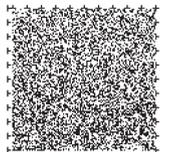


「農業」と「福祉」の連携で生まれた農産物等を販売する「農福連携マルシェ」



まごころ製品の一例

【問い合わせ】
まごころ製品障がい福祉課
TEL 092-643-3264 FAX 092-643-3304
(まごころ企業)新雇用開発課
TEL 092-643-3594 FAX 092-643-3619



福岡県の伝統工芸品～歴史と風土が育みました～

経済産業大臣指定伝統的工芸品（7品目）

この指定は、経済産業大臣によって定められた要件（主として日常生活で使用、主要工程が手作り、100年以上前から続く技術や技法など）を持つ工芸品に与えられます。

福岡県内では7品目がこの指定を受け、伝統にふさわしい完成度の維持に努めています。



1 博多織 (はかたおり)

1241年、宋にわたった博多商人が伝えたのが始まりです。

平織の博多織は、締め心地が良く「キュッキュ」^{キュッキュ}という絹鳴りは品質の良い博多織の代名詞ともいわれています。

主産地：福岡市



5 上野焼 (あがのやき)

李朝陶工の尊楷^{ソンカイ}が17世紀初めに福智山山麓に窯を開いたのが始まりです。

上品な薄づくりが多く、茶道にふさわしい名陶として人気があります。

主産地：福智町



2 博多人形 (はかたにぎょう)

1601年、瓦職人の一人が趣味で焼いた素朴な土人形が始まりといわれています。

伝統にとらわれない斬新な発想で、国内ばかりでなく海外にも輸出されています。

主産地：福岡市



6 八女福島仏壇 (やめふくしまぶつだん)

1821年、遠渡三作という大工が夢でみた壮麗な楼閣をヒントに製作したといわれています。

すみずみまで金箔を使用した八女福島仏壇は、作りが精巧で華麗であることが特色です。

主産地：八女市



3 久留米緋 (くるめかすり)

江戸時代後期に久留米の女性、井上伝が考案しました。

深い藍色の中の美しい模様柄と自然素材の素朴な味わいが魅力で、日本全国に知られています。

主産地：久留米市、筑後市、広川町



7 八女提灯 (やめちょうちん)

1816年頃、荒巻文右衛門が「場提灯」と称して、草花などを描いた素朴な提灯を作ったのが始まりとされています。

風雅な情緒味に富んでおり、広く全国に出荷されています。

主産地：八女市



4 小石原焼 (こいしわらやき)

素朴でぬもりがあり、九州の民陶の中でも名高い焼物です。

17世紀頃から創り始められたといわれ、飛び鉈、刷毛白、流し掛けなど独特の技法に特徴があります。

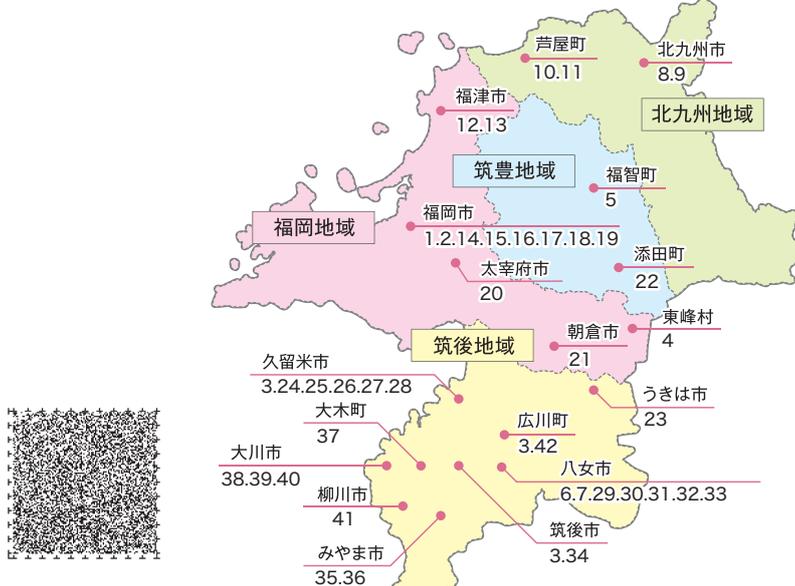
主産地：東峰村

「伝統的工芸品」の指定には以下の要件が必要とされています。

- 1.主として日常生活で使われるもの
- 2.製造過程の主要部分が手作り
- 3.伝統的技術または技法によって製造
- 4.伝統的に使用されてきた原材料
- 5.一定の地域で産地を形成

伝統工芸品マップ

(主な生産地を示しています。)

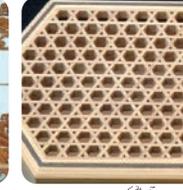


1 博多織	22 英彦山がらがら
2 博多人形	23 棕櫚箒
3 久留米緋	24 久留米おきあげ
4 小石原焼	25 藍胎漆器
5 上野焼	26 城島鬼瓦
6 八女福島仏壇	27 筑後和傘
7 八女提灯	28 鍋島緞通
8 孫次夙	29 八女手漉和紙
9 小倉織	30 八女石灯ろう
10 八朔の馬	31 八女竹細工
11 芦屋釜	32 八女矢
12 津屋崎人形	33 八女和ごま
13 福岡積層工芸ガラス	34 赤坂人形
14 博多曲物	35 きじ車
15 博多鉢	36 天然樟腦
16 博多張子	37 掛川
17 博多独楽	38 大川総桐箒筒
18 博多おきあげ	39 大川彫刻
19 今宿人形	40 大川組子
20 木うそ	41 柳川まり
21 杷木五月節句織	42 八女すだれ

福岡県知事指定特産工芸品・民芸品 (35品目)

この指定は、福岡県で製造される郷土色が豊かで、一定の伝統性を有する(技術・技法が50年以上の歴史があり今日まで継続など)工芸品・民芸品に与えられます。

現在、35品目が指定され、福岡県内のみならず、日本中の人々に愛されています。

- | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|--|
| 
8 孫次風
地域の伝承を遊び心とともに | 
9 小倉織
江戸時代から愛された木綿織物 | 
10 八朔の馬
次世代の健勝を願う、素朴な贈り物 | 
11 芦屋釜
文様と形の美。古来茶人に愛された茶の湯釜が現代に | 
12 津屋崎人形
「素朴さ」と「重厚さ」で愛される人形 | 
13 福岡積層工芸ガラス
透き通り重なりあう美しさ | 
14 博多曲物
日本人が重用してきた生活道具 |
| 
15 博多鉾
刀鍛冶に始まる伝統と技の集大成 | 
16 博多張子
昔ながらの縁起物 | 
17 博多独楽
曲芸を生んだ精巧な作り | 
18 博多おきあげ
受け継がれる博多の押絵 | 
19 今宿人形
暮らしに密着した民俗人形 | 
20 木うそ
天神様の使い鳥 | 
21 杷木五月節句織
筑後の節句を飾る、勇壮な織 |
| 
22 英彦山がらがら
生活を守り続ける日本最古の土鈴 | 
23 棕櫚箒
日常に根ざした「生活用品」 | 
24 久留米おきあげ
押し絵で知られる布の文化 | 
25 藍胎漆器
丈夫で美しい日用品 | 
26 城島鬼瓦
日本家屋の屋根を飾る、威しい形相 | 
27 筑後和傘
繊細な匠の技が生み出す美しさと実用性 | 
28 鍋島織通
日本の気候にふさわしい敷物 |
| 
29 八女手漉和紙
耐久性に富んだ強靱な和紙 | 
30 八女石灯ろう
凝灰岩ならではのおもむき | 
31 八女竹細工
長く愛される実用品 | 
32 八女矢
矢飛びの良さと美しさ | 
33 八女和ごま
大きくて「ハソ」が特徴 | 
34 赤坂人形
素朴であたたかい土人形 | 
35 きじ車
九州を代表する木製の玩具 |
| 
36 天然樟脳
森がくれたやさしい香り | 
37 掛川
い草の爽やかな香りと過ごしやすい足触り | 
38 大川総桐筆筒
桐の特性が活かした職人技 | 
39 大川彫刻
彫りの力強さと美しさ | 
40 大川組子
緻密な細工が描く木の紋様 | 
41 柳川まり
女の子の初節句を飾る、愛情のかたち | 
42 八女すだれ
万葉集にも詠まれた風情ある調度品 |

ここでご紹介している福岡県の伝統工芸品は、福岡県庁11階「福岡よかもんひろば」で実際にご覧いただけます。みなさんぜひお越しください。



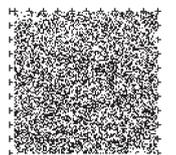
県庁11階物産観光展示室
福岡よかもんひろば

YOKAMON HIROBA!

県内の祭りをデザインした博多織タペストリーや伝統工芸品等の常設展示、触って学べるコーナーに加え、企画展やイベントを随時開催しています。大川インテリアにふれてくつろげるラウンジやカフェも併設しています。 <https://yokamon-hiroba.jp>

所在地	福岡市博多区東公園7-7 福岡県庁11階
利用可能時間	8:30~17:15
休日	土・日・祝日及び年末年始

【問い合わせ】観光政策課 TEL 092-643-3454 FAX 092-643-3431



福岡県の世界遺産

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群



沖ノ島では、4世紀後半から9世紀にかけて航海の安全を願う祭祀が行われました。

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は、沖ノ島を崇拜する伝統が古代東アジアの活発な対外交流の中で発展し、今日まで継承されてきた貴重な遺産群として2017年7月に世界遺産に登録されました。



通常渡島できない沖ノ島を選択する(遠くから拝む)生きた伝統を伝える、大島における信仰の場



沖ノ島で祭祀を行い、現代に続く島に対する信仰の伝統を育んだ豪族、宗像氏の存在の物証

世界遺産「神宿る島」
宗像・沖ノ島と関連
遺産群 公式HP



明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業



江戸時代の終わりから明治時代にかけて、日本は、西洋の技術や機械を取り入れて、約50年という短期間に驚くべきスピードで産業を発展させました。

福岡県ほか7県にまたがる「明治日本の産業革命遺産」は、日本の産業革命の原動力となった重工業の遺産として、2015年7月に世界遺産に登録されました。

※官営八幡製鐵所旧本事務所、遠賀川水源地ポンプ室は非公開施設です。眺望スペースから施設の外観を見学することができます。



官営八幡製鐵所 旧本事務所
1899年に建てられ、製鐵所の中心的な役割を果たした初代本事務所



三池炭鉱 宮原坑
重工業の燃料となる石炭を産出し、日本の近代化を支えた主力炭鉱



三池港
三池炭鉱で産出された石炭を運び出すためにつくり、現在も産業港として使われている



遠賀川水源地ポンプ室
1910年以来、現在も動き続けている製鐵所の送水施設

世界遺産についての解説、展示をご覧になりたい方は、以下の施設にお越しください!

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群



世界遺産ガイド施設
海の道むなかた館
【住所】宗像市深田588

明治日本の産業革命遺産



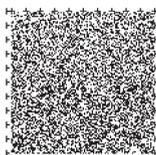
世界遺産ビジターセンター
(スペースLABO ANNEX内)
【住所】北九州市八幡東区東田2-2-11



大牟田市石炭産業科学館
【住所】大牟田市岬町
6-23



遠賀川水源地ポンプ室
インフォメーションセンター
【住所】中間市大字垣生660-1



世界遺産「明治日本の産業革命遺産」
製鉄・製鋼、造船、石炭産業 福岡県
公式HP



福岡県の代表的な祭り

鬼夜 (久留米市)

■ 時期 : 1月7日



「鬼夜」は、1600年余りの伝統があり、日本三大火祭りの一つに数えられるとともに、国の重要無形民俗文化財に指定されている祭りです。大晦日の夜から正月7日までの「鬼会(おにえ)」の最終日に行われ、行事を飾る大松明廻しは、直径約1m、全長13m、重さ1.2トンの6本の大松明が締め込み姿の人たちによって支えられ、火の粉を散らしながら本殿の周りを勇壮に廻ります。

川渡り神幸祭 (田川市)

■ 時期 : 5月第3土曜日とその翌日の日曜日



風治八幡宮 川渡り神幸祭は、県の無形民俗文化財第1号に指定されており、450年以上続く筑豊地区を代表する祭りです。運行する神輿では日本最大級の大神輿を先頭に、幟山笠が彦山川を渡り、若衆が水を掛け合います。この勇壮で、絢爛豪華な川渡り神幸祭が終わると、筑豊はもう夏。この祭りを合図とするかのように、田植えが始まります。

博多祇園山笠 (福岡市博多区)

■ 時期 : 7月1日~15日



770年以上の伝統があり、国の重要無形民俗文化財に指定されている博多を代表する勇壮な夏祭りで、平成28年11月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。福岡の博多部を中心に行われ、期間中は町の各所に「飾り山」が飾られます。クライマックスは15日早朝の追い山で、重さ1トンの「昇き山」を担いだ揃いの法被に締め込み姿の男たちが博多の町を駆け抜けます。「オイサッ、オイサッ」の勇壮なかけ声が響き、博多の町に夏本番を告げます。

小倉祇園太鼓 (北九州市小倉北区)

■ 時期 : 7月第3土曜日を挟む3日間(太鼓共演大会は、第3土曜日)



映画「無法松の一生」でも知られ、400年の歴史を持つ勇壮・優美な太鼓祇園で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。まさにその名のとおり勇壮な太鼓の音が主体の賑やかな祭りで、両面打ちの太鼓の響きは腹の底にこたえる感覚を人々に与えます。賑やかなチャンガラ(摺り鉦)と全国的にも珍しい両面打ちによる太鼓の音が、夏の小倉を祭り一色に染めます。

おおむた大蛇山まつり (大牟田市)

■ 時期 : 7月第4土曜日とその翌日の日曜日



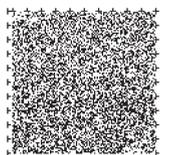
毎年、7月下旬に開催される筑後地方を代表する夏祭り。各地区から繰り出された長さ10m以上もある大蛇山が火煙を吹きながら町を練り歩く姿は圧巻です。祇園六山巡行、港まつり、一万人の総踊り、花火大会など期間中は約40万人の人出で賑わいます。

戸畑祇園大山笠 (北九州市戸畑区)

■ 時期 : 7月第4土曜日を挟む3日間



国の重要無形民俗文化財に指定され、昼は幟山笠、夜は提灯山笠が楽しめる祭りで、平成28年11月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。昼は4基の大山笠が古式ゆかしい幟旗12本を立てて町を練り歩き、夜は1基につき309個の提灯を12段に重ね、高さ10メートル、重さ2.5トンの提灯大山笠に姿を替えます。8基の山笠が一堂にそろう大山笠競演会は、見る人の心を魅了します。



福岡県の広報・広聴事業

[広報事業]

県では、県民の皆さんに県政への理解を深めてもらうため、県の重要施策や支援制度、主催行事、諸制度などの情報を広報紙(誌)やテレビ・ラジオ番組、ホームページ、SNSなどでお知らせしています。

●各戸配布広報紙「福岡県だより」(年6回奇数月発行)

県の重要施策、県政の動き、県からのお知らせ、地域の話などを分かりやすく掲載し、県内のご家庭に配布する広報紙です。

また、視覚に障がいがある人向けに、「福岡県だより」録音版・音声コード版・点字版を作成し、希望者に配布しています。

●広報誌「グラフふくおか」(年4回発行)

県の魅力、地域の見どころ、県議会だよりなどを、写真を主体に掲載したグラフ誌です。

また、視覚に障がいがある人向けに、「点字ふくおか」を作成し、希望者に配布しています。

●新聞紙面広告

定期広告「福岡県からのお知らせ」(年6回、偶数月第3日曜日に4紙に掲載)の他、県政の重要施策について随時掲載しています。

●広報番組

番組名	媒体	放送局・配信サイト	放送日・配信頻度
優&舞の 知っつく!ふくおか	テレビ	FBS	毎週土曜日 11:35~11:40
福岡県だより	ラジオ	FM福岡	毎週月・木曜日 9:35~9:40
HKT48の 福岡撮影中。	YouTube	YouTubeチャンネル ふくおか インターネットテレビ	月2回程度配信
余筈健の ハイコレ!	YouTube	YouTubeチャンネル ふくおか インターネットテレビ	月2回程度配信



●テレビ番組



●YouTube番組



●ホームページ・SNS(公式アカウント)

●福岡県
ホームページ



●福岡県庁
Twitter



●福岡県庁
LINE



●YouTube
チャンネル
ふくおかインター
ネットテレビ



[広聴事業]

県では、県民の皆さんの意見・提案などを県政に反映させるため、さまざまな広聴事業を行っています。

●県政提案メール

県政に対する意見・提案などをインターネットなどで幅広くお聴きしています。いただいたご意見等は、関係部署に送付するなど県政運営に反映させるよう努めています。

また、県のホームページにおいて、皆さんから寄せられたご意見・ご提案及び回答の一部を掲載しています。

●ふくおか県政出前講座

県政についての理解を深めていただくために、県職員が皆さんの地域に向いて、県の仕事についてわかりやすく説明します。おおむね20人以上の県民の皆さんが集まる集会などを対象としています。

テーマメニューは、福岡県ホームページでご覧いただけます。



●県政モニター制度

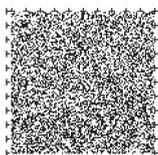
県内在住の18歳以上の方400名に、約1年間県政モニターになっていただき、県政についての意見・提案などをお聴きする制度です。毎年募集をしています。

●県民相談

県内各地域に県民相談窓口を設けて、県政や県民生活に関する意見や要望、問い合わせ等に応じています。

また、日常生活での争いやめ事の解決を図るため、弁護士による無料法律相談(予約制)も行っています。

※この他、知事が県民の皆さんと直接、意見交換を行う機会などを設け、皆さんの声をお聴きします。



九州の連携する姿を分かりやすく国内外にPRするため、「九州ロゴマーク」を作成しました。「のれん」をモチーフに、「九」「州」「一」の文字を組み合わせ、「九州はひとつ」を表現しています。



編集/発行
福岡県総務部県民情報広報課
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 TEL(092)643-3103
FAX(092)643-3107